

ENIGMAとGROM/MSX125 (2016 LEDヘッドライトモデル)の接続方法 ブルートゥース版

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なGROM/MSX125の整備知識が必要です。
 ノーマル車両には車両に乗った状態で左側、シートサイドカバーの内側にECUが有ります。
 まず、シートを外し、ガソリタンクサイドカバー（左側）を取り外します。
 その後シートサイドカバーを取り外すとECUが斜めにゴムマウントされています。
 ECUに繋がっている33ピンカプラーを外し配線を加工してENIGMAを割り込みさせて下さい。
 ENIGMAは近くに水に濡れないよう取り付けてください。配線加工後ECUを取り付けてください。
 (2015以前 プロジェクターヘッドライトモデルとの接続につきましては、専用のマニュアルをご覧ください)

カプラー側の配線にENIGMA配線をインジェクター線を除き**割り込み接続します。**

(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)

割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

ENIGMAの動作に問題が起こります。(ハンダ付け等での作業で信頼性が向上します。)

RTFの末尾にWが付かないEAD-330RTF, EID-330RTF, EBD-330RTFは2015以前のプロジェクトヘッドライトのグロム専用です。2016以降のLEDヘッドライトのグロムでのご使用になるには、1か所の配線変更が必要です。
 EBD-330RTFW(Wが付いたもの)は2016以降のLEDヘッドライトモデルと2015以前のプロジェクトヘッドライトのグロムの両方に使用可能です。RTFWタイプをお使いの方は、ECUに繋がっているカプラーを外し、ENIGMA RTFWから出ているカプラーをECUと車体側に接続してください。「カチッ」とロック音がすることを確認してください。

- 基本的にENIGMAから出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。

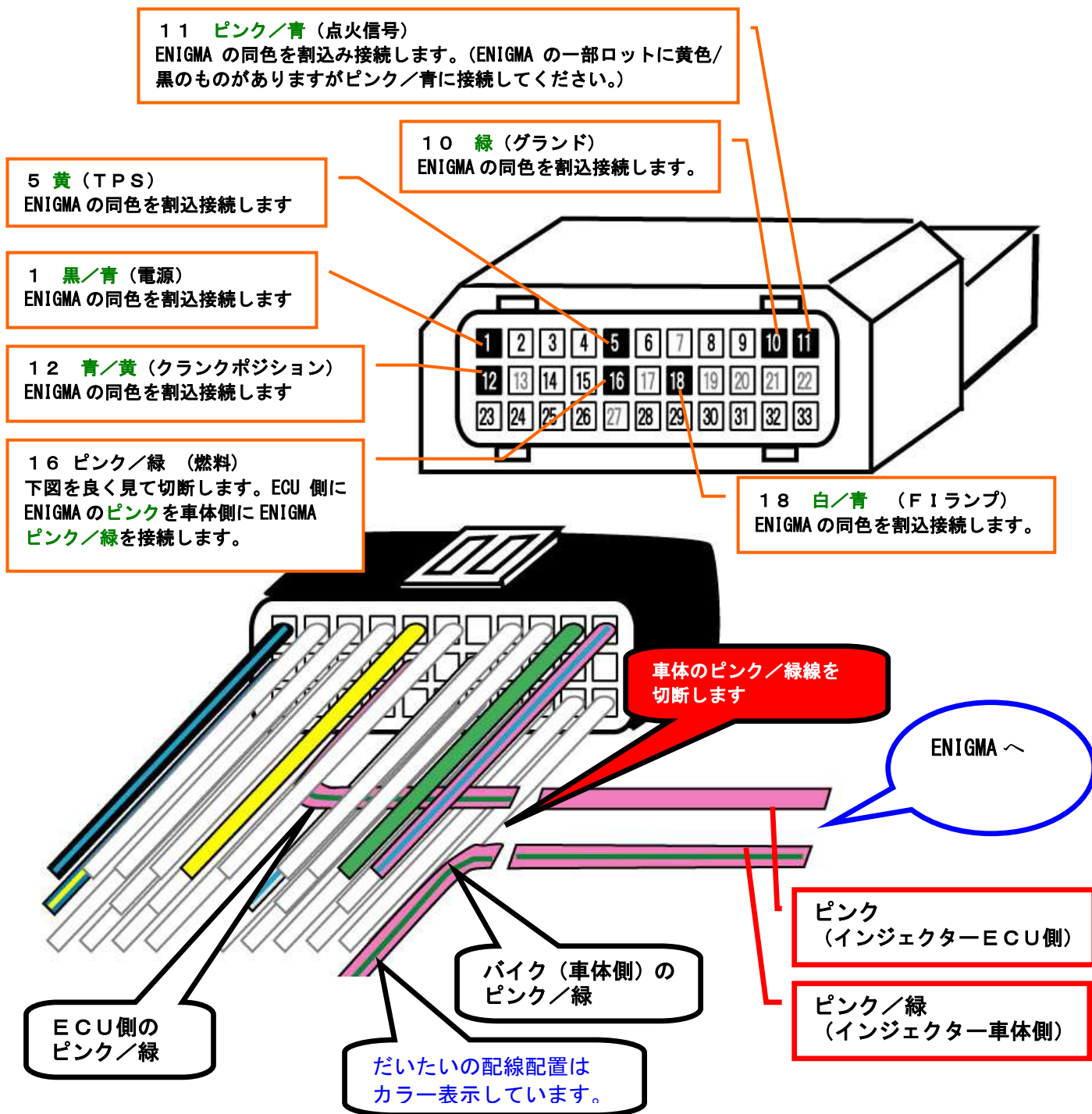
ENIGMAから接続する配線は全部で8本です。

ムラサキ線はサービス出力線なのでECUには繋ぎません。使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。

白線はピットレーンリミッタスイッチ用なのでECUには繋ぎません。使用しないときは絶縁処理をしてください。

- ※ ECUの16番端子(ピンク/緑)へ接続されている線(インジェクターへの信号)を切断して、ENIGMAからの配線で、バイク車体側にピンク/緑線を接続、ECU側にピンク線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ 9番端子と10番端子はどちらも緑線です。ご注意下さい。
- ※ カプラーオンタイプで旧型のEAD-330RTF, EID-330RTF, EBD-330RTFの場合、ENIGMAから出ている「白/青」線をECUの**22番端子から18番端子**へ接続し直して下さい。EBD-330RTFWの場合配線変更は必要ありません。
- ※ 本体に直接水がかからないようにして下さい。また配線の根元から水が入るのを防止するため、配線側を下にして設置して下さい。

- 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



- ECU端子で繋ぐのは1、5、10、11、12、16、18の7箇所です。上図で良くご確認下さい。
- ENIGMA から出ている「白線」はピットインリミッター用の配線です！使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。使用方法是このマニュアル最後にあるピットインリミッタースイッチの設置を参照ください。
- ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMA はクランク 1 回転に 1 回、5V を出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。
- 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホで ENIGMA 操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。
- PC用 ENIGMA 専用ソフトは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。iOS 用アプリ、Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com>

※GROM/MSX125 ENIGMA 専用ソフト(アプリ)をお使いください。他のバイク専用の ENIGMA ソフト(アプリ)や GROM 用の FirePlus 専用のソフト(アプリ)は EASY モード/PRO モード共接続できません。

ENIGMA Type-P と GROM/MSX125 (2016 LED ヘッドライトモデル) の接続方法 ブルートゥース版

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なGROM/MSX125の整備知識が必要です。
 ノーマル車両には車両に乗った状態で左側、シートサイドカバーの内側にECUが有ります。
 まず、シートを外し、ガソリタンクサイドカバー（左側）を取り外します。
 その後シートサイドカバーを取り外すとECUが斜めにゴムマウントされています。
 ECUに繋がっている33ピンカプラーを外し配線を加工してENIGMA Type-Pを割り込みさせて下さい。
 ENIGMA Type-Pは近くに水に濡れないよう取り付けてください。配線加工後ECUを取り付けてください。
 (2015以前 プロジェクターヘッドライトモデルとの接続につきましては、専用のマニュアルをご覧ください)

カプラー側の配線にENIGMA Type-P配線をインジェクター線及び、O2センサー線を除き**割り込み接続します。**

(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)

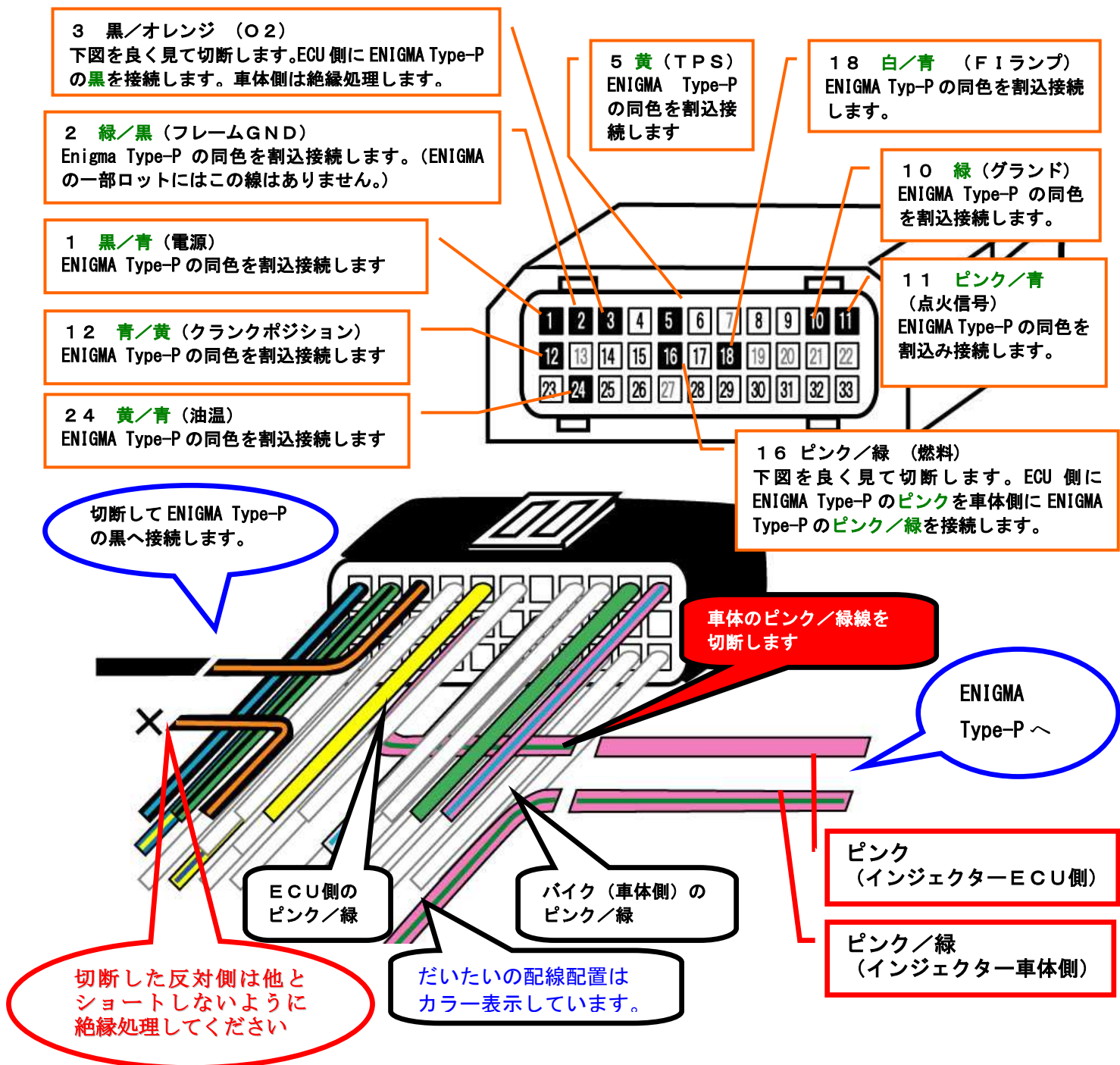
割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

ENIGMA Type-Pの動作に問題が起きます。(ハンダ付け等での作業で信頼性が向上します。)

RTFの末尾にWが付かないEAD-330SRTF, EID-330SRTF, EBD-330SRTF, EBD-330PRTF, EBD-331PRTFは2015以前のプロジェクトヘッドライトのグロム専用です。2016以降のLEDヘッドライトのグロムでのご使用になるには、1か所の配線変更が必要です。EBD-331PRTFW(Wが付いたもの)は2016以降のLEDヘッドライトモデルと2015以前のプロジェクトヘッドライトのグロムの両方に使用可能です。PRTFWタイプをお使いの方は、ECUに繋がっているカプラーを外し、ENIGMA RTFWから出ているカプラーをECUと車体側に接続してください。「カチッ」とロック音がすることを確認してください。

- 基本的にENIGMA Type-Pから出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。ENIGMA Type-Pから接続する配線は全部で11本です。
ムラサキ線はサービス出力線なのでECUには繋ぎません。使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。
白線はピットレーンリミッタスイッチ用なのでECUには繋ぎません。使用しないときは絶縁処理をしてください。
- ※ ECUの16番端子(ピンク/緑)へ接続されている線(インジェクターへの信号)を切断して、ENIGMA Type-Pからの配線で、バイク車体側にピンク/緑線を接続、ECU側にピンク線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ 9番端子と10番端子はどちらも緑線です。ご注意下さい。
- ※ ECUの3番端子(黒/オレンジ)へ接続されている線(O2センサーからの信号)を切断して、ENIGMA Type-Pの黒線とECU側を接続してください。
 切断した車体側は他の線やフレームとショートしないよう絶縁処理してください。
- ※ ENIGMAからボディアース(フレームGND)へ接続する緑/黒線がある場合、この線をバッテリーのマイナス側かバイクのフレームに直接配線するか、ECUの2番端子(緑/黒線)へ接続してください。ECUの9番、10番端子(緑線)には接続しないでください。ENIGMAの一部のロットにはこの線はありません。
- ※ カプラーオンタイプで旧型のEAD-330SRTF, EID-330SRTF, EBD-330SRTF, EBD-330PRTF, EBD-331PRTFの場合、ENIGMA Type-Pから出ている「白/青」線をECUの22番端子から18番端子へ接続し直してください。EBD-331PRTFWの場合配線変更は必要ありません。
- ※ 本体に直接水がかからないようにしてください。また配線の根元からの水が入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。

● 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



- ECU端子で繋ぐのは1、2、3、5、10、11、12、16、18、24の10箇所です。上図で良くご確認下さい。
- ENIGMA Type-P から出ている「白線」はピットインリミッター用の配線です！使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。使用方法是このマニュアル最後にあるピットインリミッタースイッチの設置を参照ください。
- ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMA Type-P はクランク 1 回転に 1 回、5 V を出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。
- 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホで ENIGM 操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。
- PC用 ENIGMA 専用ソフトは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。iOS 用アプリ、Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com>

※GROM/MSX125 ENIGMA 専用ソフト(アプリ)をお使いください。ENIGMA 用は type-P にも対応します。他のバイク専用の ENIGMA ソフト(アプリ)や GROM 用の FirePlus 専用のソフト(アプリ)は EASY モード/PRO モード共接続できません。

ピットインリミッタースイッチの設置

ENIGMAから出ている「白線」はピットインリミッタースイッチ設置の為の配線です。
ピットインリミッターは外部スイッチONの時だけ速度を制御するためエンジン回転を一定の回転に制御します。この機能を使用したい方は以下の作業を行って下さい。

一般に市販されているお好みのスイッチを購入して、使いやすい位置に設置して下さい。
(ハンドルに取り付ける場合は運転の妨げにならない操作しやすい場所に設置します)
スイッチは「ON」で通電／OFFで遮断する一般的な仕組みの物です。
押している時だけONになる物は適しません。ご注意ください。

設置が終わったらENIGMAの白線を繋ぎます。通常はスイッチには2つの端子が有りますので片方に白線を接続。もう片方は確実に「ボディーアース」出来る場所に繋ぎます。

※もっとも確実なのはバッテリーマイナスに繋ぐ事です。間違ってもプラスに繋ぐと回路が焼け落ち使用不能になります。絶対に行わないで下さい。

以上の作業でピットインリミッタースイッチの設置は終了です。

- **ピットインリミッター用の配線を使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。**